

令和3年5月14日

各 位

会社名 ワイエスフード株式会社
 代表者名 代表取締役社長 緒方正憲
 (JASDAQ・コード番号3358)
 問合せ先 取締役管理本部長 濱崎 祐和
 TEL 0947-32-7382

業績の前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、本日付「令和3年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」で公表した令和3年3月期(令和2年4月1日～令和3年3月31日)の業績につきまして、前期実績値(令和2年3月期(平成31年4月1日～令和2年3月31日))との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 令和3年3月期通期業績の前期実績との差異

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|-------------------------|-------|------|------|-------|----------------|
| | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 百万円 | 円 銭 |
| 前期実績値(A) (令和2年3月期通期) | 1,484 | △115 | △281 | △357 | △92.21 |
| 当期実績値(B) (令和3年3月期通期) | 1,303 | △94 | △73 | 0 | 0.09 |
| 増減額(B-A) | △180 | 20 | 207 | 357 | 92.31 |
| 増減率(%) | △12.1 | — | — | — | — |

2. 差異の理由

売上高は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に向けた営業時間の短縮及び休業の影響により、国内直営店の店舗売上高及び国内外への食材出荷が減少したことで、売上高は、前事業年度に比べ180百万円減収(12.1%減)の1,303百万円となりました。

一方、営業利益におきましては、本社及び店舗におけるコスト圧縮を推進し、前事業年度に比べ20百万円改善されており、経常利益におきましては、前事業年度における貸倒引当金繰入額が168百万円あったことに加え、当事業年度におきましては、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う福岡県感染拡大防止協力金等があったことから助成金収入19百万円等の影響から、前事業年度に比べ207百万円の損失額が圧縮されております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、当事業年度において123百万円の固定資産売却益が計上されていることに加え、前事業年度に比べ減損損失が46百万円減少したことにより、前事業年度△357百万円から357百万円増益の0百万円となっております。

その他詳細につきましては、本日公表の「令和3年3月期決算短信〔日本基準〕(非連結)」にて記載しております。

以 上